

算数授業のめあてとポイント

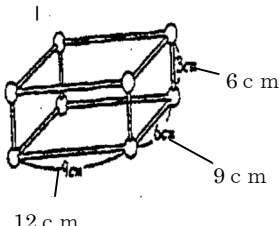
令和6年3月号

学校図書対応

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにしましょう。

(K・・・啓林館, G・・・学校図書, T・・・東京書籍)

学 年	単 元	単元のめあて と 授業のポイント
1 年	下巻 ^⑮ かたち (2) 同様単元 K11月 ^⑭ T3月 ^⑮	◎単元のめあて(例) いろいろたや ぼうを ならべたり うごかしたり せんでつないだりして、 かたちのひみつを見つけて、はなそう。 ◎授業のポイント - 色板や棒を並べてさまざまな形を構成したり分解したりする中で「さんかく」「しかく」が形作られていることや、様々な形の中に「さんかく」「しかく」があるなど、多面的な味方ができるようにする。 - p.62 では、作るだけでなく、どんな形を使ってどのように動かして(ずらす、回す、裏返すなど)できているのか分かるようにする。実際に  を置いて向きや数が分かるようにすることが大切である。 - p.63  では、ずらす・回す・裏返すなどを ロズさみながら操作する中で、向きが変わっても同じ形であることが意識できるようにする。
	下巻 ^⑮ 1年の まとめ	- p.65 では、教師が提示した問題を解くだけでなく、「10 が7こと1が6こ・・・」等問題作りをすることで、数の構成について自ら理解が深められるようにする。 - 計算の習熟を図ったり、演算決定の問題の定着を図ったりする。
	下巻 プログラ ミングの プ	順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
	下巻 いまの じぶんを しろう！	日常の事象を算数の問題と捉えて問題解決する。
2 年	下巻 ^⑮ しりょう の せいり 同様単元 K4月 ^① T4月 ^①	◎単元のめあて(例) しらべたいことを話し合^{はなあ}ってきめ、ひょうやグラフで ものの数^{かず}の分^わかりやす い表^{あらわ}し方を考えて読み取り、せつ明^{めい}しよう。 ◎授業のポイント やってみたいスポーツを調べた後、さらに男女別に分類して調べるなどの活動することで、データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について 表やグラフを用いて考察できるようにする。
	下巻 ^⑮ はこの形 同様単元 K2月 ^⑮ T2月 ^⑮	◎単元のめあて(例) はこの形^{かたち}をしらべて ひみつを見つ^{めい}け、せつ明しよう ◎授業のポイント - p.110～111 では、せっけん箱(縦・横・高さの長さが異なる直方体)が学習に最適である。予め、用意しておくとい。 - 児童にとって、図を写して組み立てることは難しい。 ↓ 面のつながりに注意しながら、箱の分解操作を先に行う。 (箱をばらす→並べる→組み立てる)

		・ p. 112～113 の箱作りは、4 年の立体図形の学習に発展する。楽しく素地経験がもてるようにする。 ・ p. 114 のひごを使う数学的活動では、頂点や図などの構成要素に着目できるようにする。  ※p.114 の一辺 4 c m のひごが扱いにくい場合は、ひごの長さを計算して求め(12×3, 9×4, 6×6)ひご(36 c m)を 3 本用意し、辺の長さが 12 c m・9cm・6 c m の箱を作るようにする。ひご切りばさみが便利。
	下巻㉑ 2 年の まとめ	・ 1 年間に身に付けた知識技能を活用して、2 年のまとめができるようにする。
	下巻 プ ロ グ ラ ミ ン グ の ロ	・ 順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
	下巻 今 の 自 分 を 知 ろ う	・ 日常の事象を算数の問題と捉えて問題解決する。
3 年	下巻㉑ し り ょ う の 活 用 同様単元 K 6 月⑥ T 3 月⑱	◎単元のめあて(例) しらべたいことに合った^{せいり}整理のしかたを考え、表やグラフに表して読み取り、 せつ明しよう。 ◎授業のポイント ・ 2 年では、データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察してきた。本単元では、これに加えて、<u>見い出したことを表現すること</u>ができるようにする。 ・ p. 124 では、「組毎の好きな給食のメニューを調べよう。」などの<u>問題</u>をもち、<u>それに</u> <u>応じて</u>「組毎の好きな給食のメニューの違いを調べる。」という<u>観点</u>を設けて、表や グラフに表す。そして、好きな給食のメニューには、<u>共通点や違い</u>があるなどのデ ータの<u>特徴や傾向</u>を捉えて、その<u>背景</u>を、家庭での食習慣や外食での体験などから 考察していくようにする。 ・ p. 125 では、「組毎の好きな給食のメニューの違いが良く分かるようにしたい。」と か「3 年全体の好きな給食のメニューを調べたい。」などの<u>問題</u>をもち、「<u>それぞれの</u> <u>問題に応じた表やグラフに表して調べる。</u>」という<u>観点</u>を設けて、表や棒グラフに工 夫して表す。そして、表やグラフの<u>どの部分</u>からデータの特徴や傾向を見い出した のかや <u>その背景</u>をどう考えたのかを、<u>学級内で発表し説明</u>できるようにする。 ・ p. 126～127 では、これまでに学んだことを生かして、<u>問題</u>や <u>それに</u><u>応じた観点</u> を設け、表やグラフの<u>どの部分</u>からデータの特徴や傾向を見い出したのかや <u>その背景</u> をどう考えたのかを、<u>学級内で発表し説明</u>できるようにする。
	下巻㉑ そろばん 同様単元 K 3 月 T 3 月	・ そろばんの仕組み(5 珠)に着目し、指の数の使い方や珠の運び方には あまりこだわらず、数の多様な見方を用いた計算の仕方を考えることが できるようにする。 $2 + 4 \rightarrow 2 + \textcircled{5} - 1 \quad 8 - 4 \rightarrow 8 - \textcircled{5} + 1 \text{ た}$ $9 + 2 \rightarrow 9 + \textcircled{10} - 8 \quad 11 - 3 \rightarrow 11 - \textcircled{10} + 7$

	下巻㉓ 3年の まとめ	・3年上巻の教科書を持ってきて、自ら振り返りながら学習ができるようにする。 ・単位換算や時間の計算について定着を図るようにする。
	下巻 プログラ ミングの グ	・順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
	下巻 今の自分 を知ろう	・日常の事象を算数の問題と捉えて問題解決する。
4 年	下巻 倍の計算	◎単元のめあて(例)
	同様単元 K9月㉔ T9月 倍の見方	もとにする数や量^{りょう}がちがうときの くらべ方を考えて、説明しよう。 ※基にする数量が異なるときは 差では比べられないことに気付いて、単元のめあて(上に記載)が つかめるようにする。
		◎授業のポイント ・比べる数量が、もとにする数量の 何倍に当たるかを表すとき、倍を表す数で比べられることが、理解できるようにする。この倍を表す数を 割合ということ知らせる。 ・基にする数量を 整数倍して比べる数量を求めたり、逆に、比べる数量を 整数で割って 基にする数量を求めたりできるようにする。
	下巻㉓ しりょう の活用	◎
	同様単元 K4月㉔ T4月㉔	目的に合ったグラフを考え、特ちょうを読み取って、説明しよう。
		◎授業のポイント ・グラフを読み取ることに止まらず、「金額と気温の関係を調べる」とか、「量と金額の関係を調べる」ために、どのようなグラフが適しているかを考え、適切なグラフを選んで、考察できるようにする。
	下巻㉓ 4年の まとめ	・4年上巻の教科書を持ってきて、自ら振り返りながら学習ができるようにする。 ・概数の求め方や数の構成について習熟を図るようにする。
	下巻 プログラ ミングの ラ	・順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
	下巻 今の自分 を知ろう	・日常の事象を算数の問題と捉えて問題解決する。
5 年	下巻㉓	・2月号参照
	下巻㉓ データの 活用	◎単元のめあて(例)
	同様単元 K1月㉓ T1月㉓	データの傾向をグラフから読み取り、新たな問題を考えて、説明しよう。
		◎授業のポイント ・統計的な問題解決の場面では、①問題を設定する②計画を立てる③データを集めて分類整理する④グラフ表して分析する⑤問題の結論をまとめる。 この①～⑤の手順を経験できるようにする。 ・データの傾向をグラフから読み取ることに止まらず、グラフに書かれていないことを補って 詳しく読み取ったり、輸入率が下がっているのに消費量が増えている理由を話し合ったりして、結論について多面的に捉え、考察することが できるようにする。

	下巻② 5年の まとめ	・ 4年の教科書を持ってきて、自ら振り返りながら学習ができるようにする。
	下巻 プログラ ミングの ミ	・ 順序よく筋道を立てて考えられるようにする。
	下巻 今の自分 を知ろう	・ 日常の事象を算数の問題と捉えて問題解決する。
6 年	別冊 中学校へ のかけ橋	・ 既習事項の復習を重点的に扱って、興味関心のある児童には、発展的な問題にも取り組むことができるようにする。

<お知らせとお願い>

「算数教育ネットワーク岡山」で HP を検索して、毎月の「算数授業の めあてとポイント」や

「算数教育 情報コーナー」等を ご覧いただき、日々の実践に役立てて下さい。

なお、これらについての ご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は
seiden_atmark_po.harenet.ne.jp まで Mail でお知らせ下さい。(atmark_を@に直して下さい。)